

スライドカンファレンス回答

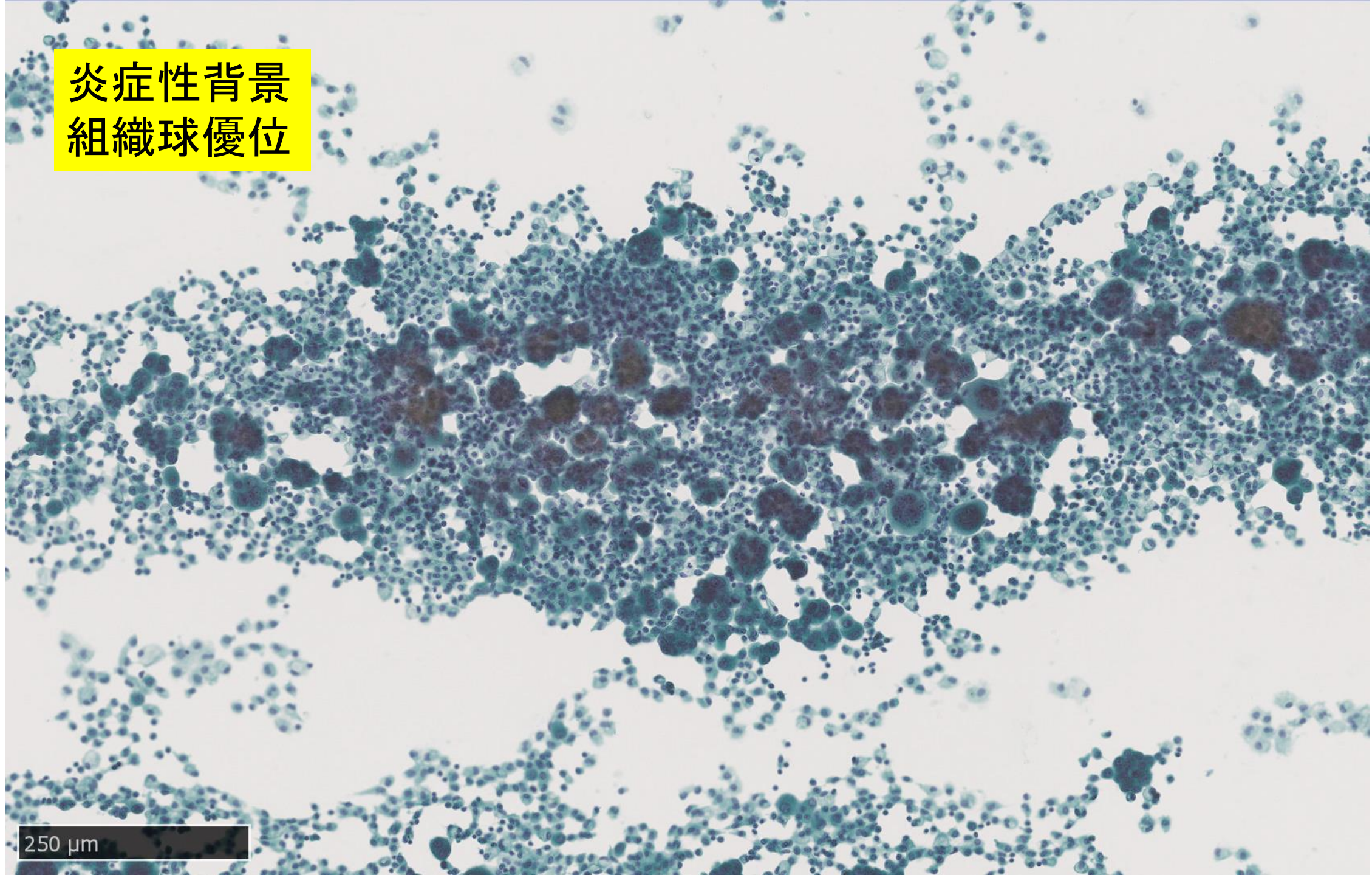
2. 体腔液

日本赤十字社和歌山医療センター
病理診断科部 溝畑知穂

症例

- 検体：右胸水
- 症例：70歳代、男性
- 既往歴：C型肝炎
- 現病歴：約6ヶ月前より呼吸困難出現し、
2か月前より息切れが悪化。
右胸水貯留を指摘され、他院より紹介受診。

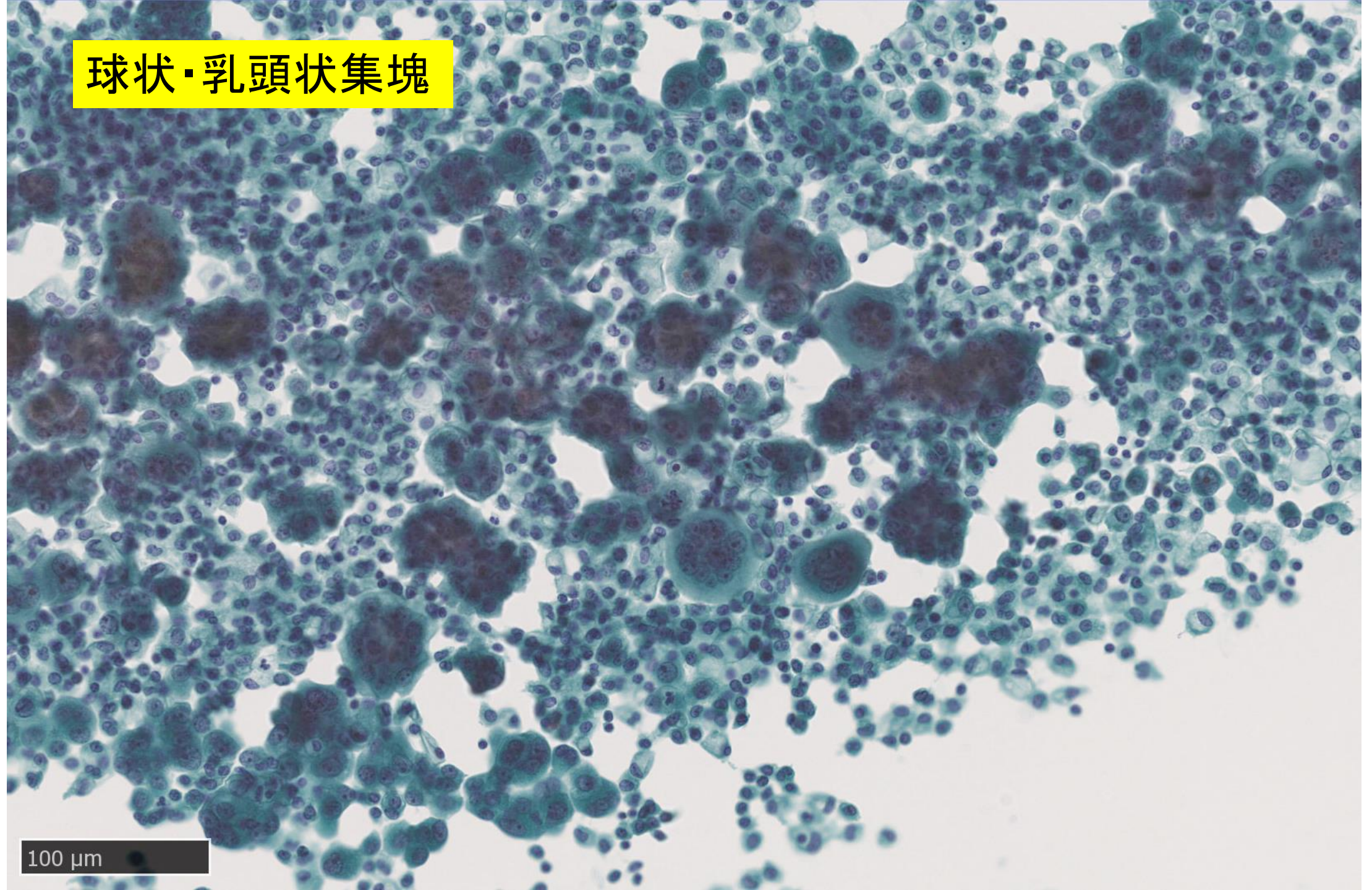
炎症性背景
組織球優位



250 μ m

x10

球状・乳頭状集塊



100 μm

x20

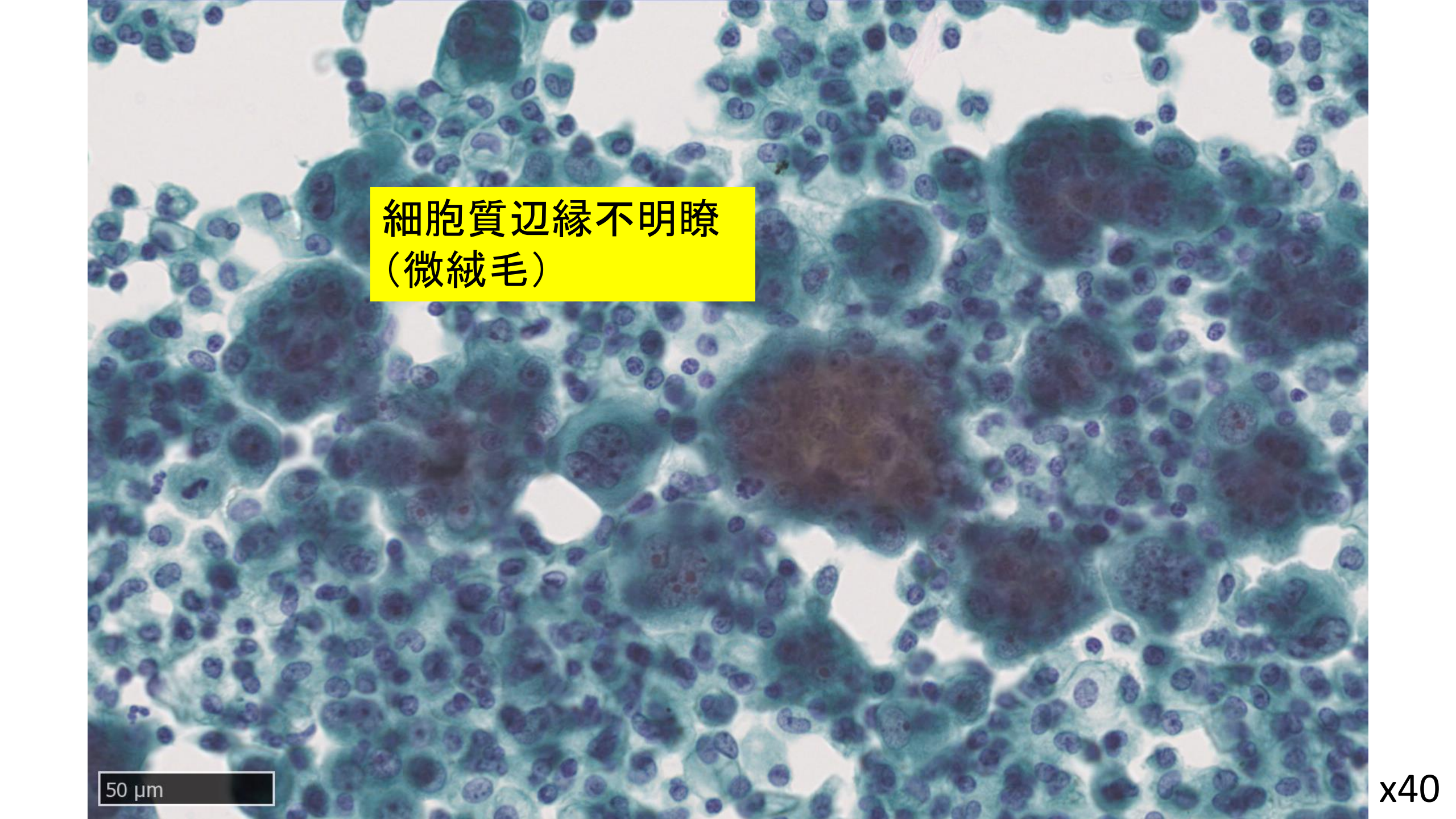


多核細胞が多い
核は類円形で中心性

Hump様突起

50 μ m

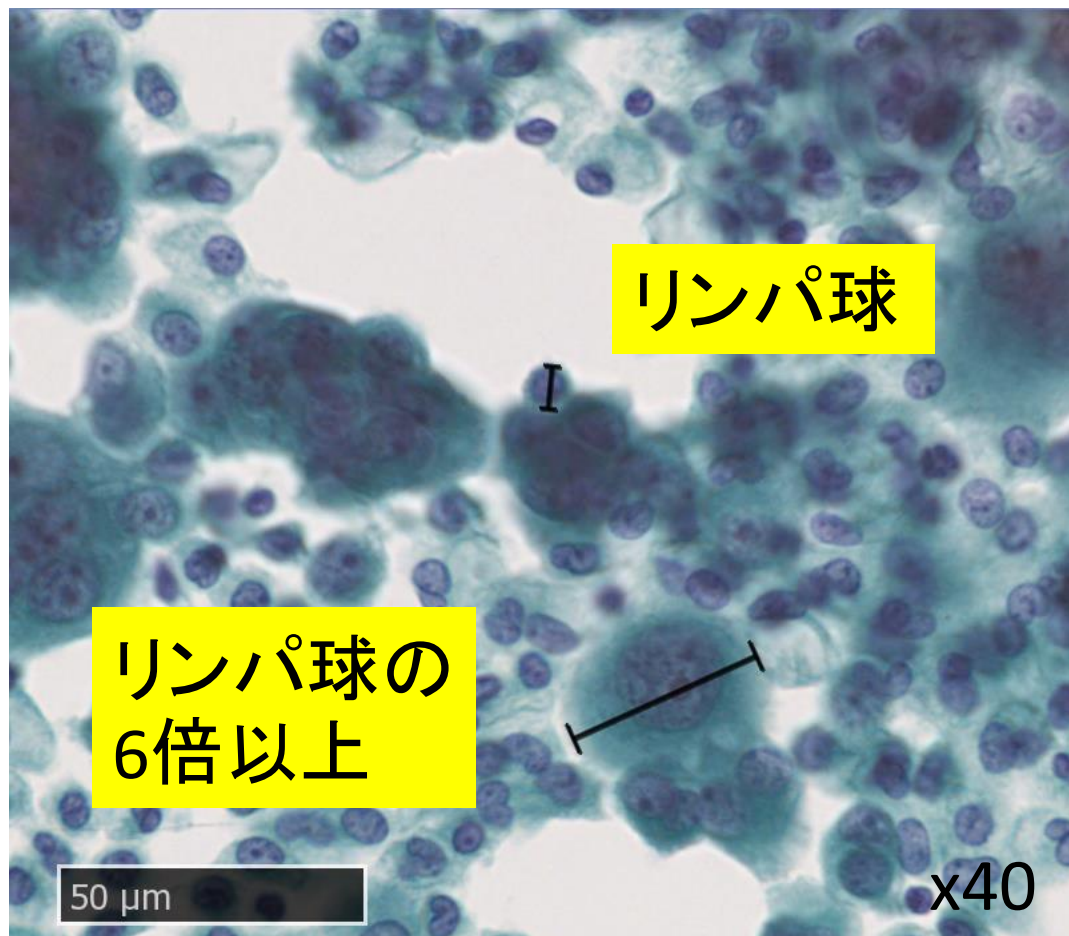
x40



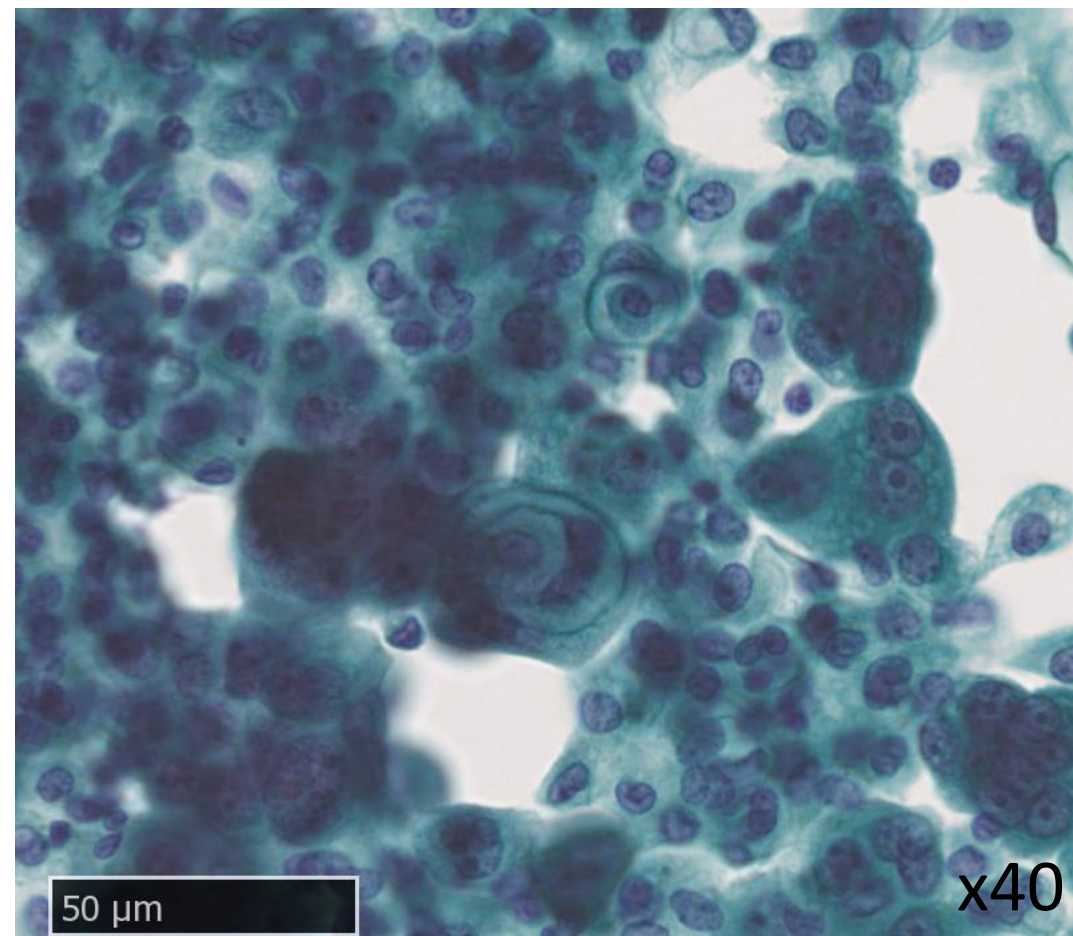
細胞質辺縁不明瞭
(微絨毛)

50 μ m

x40

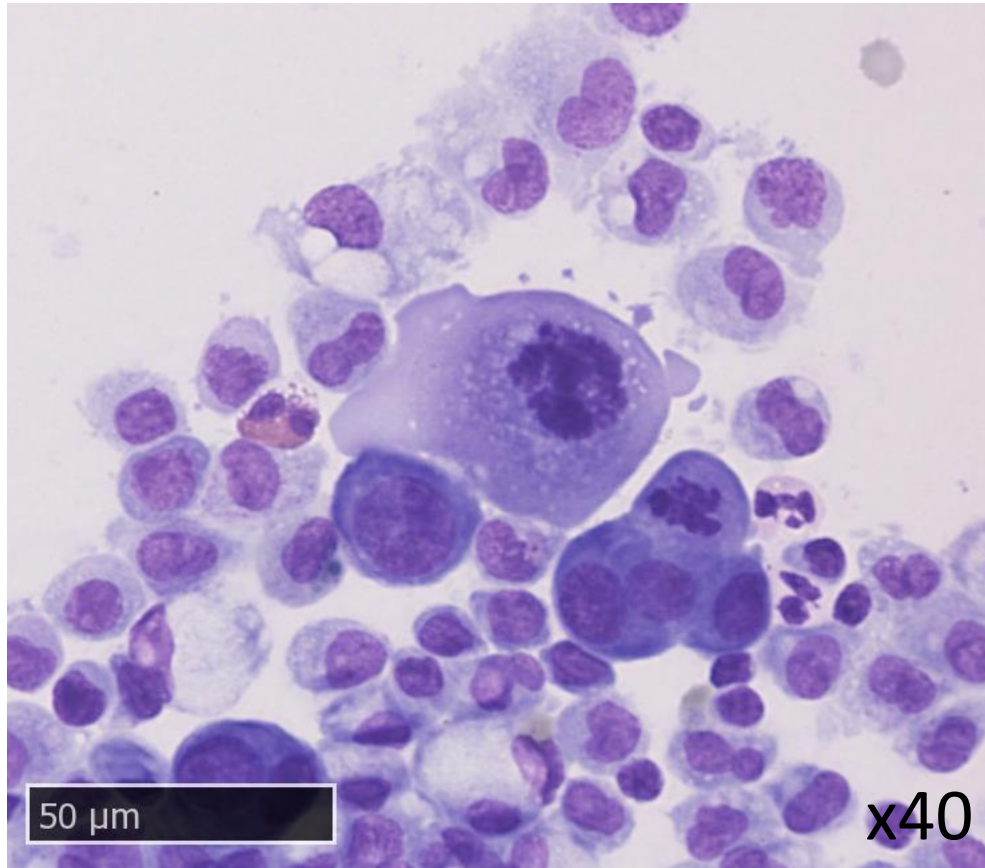


細胞の大きさ

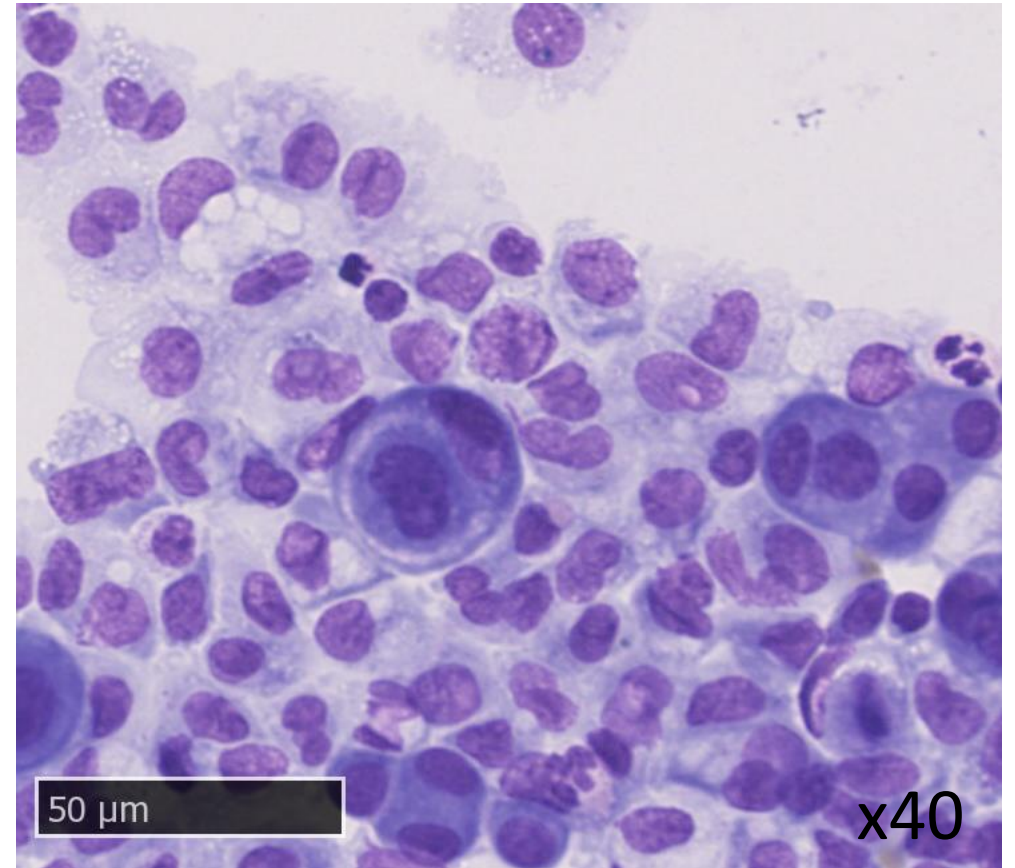


相互封入像

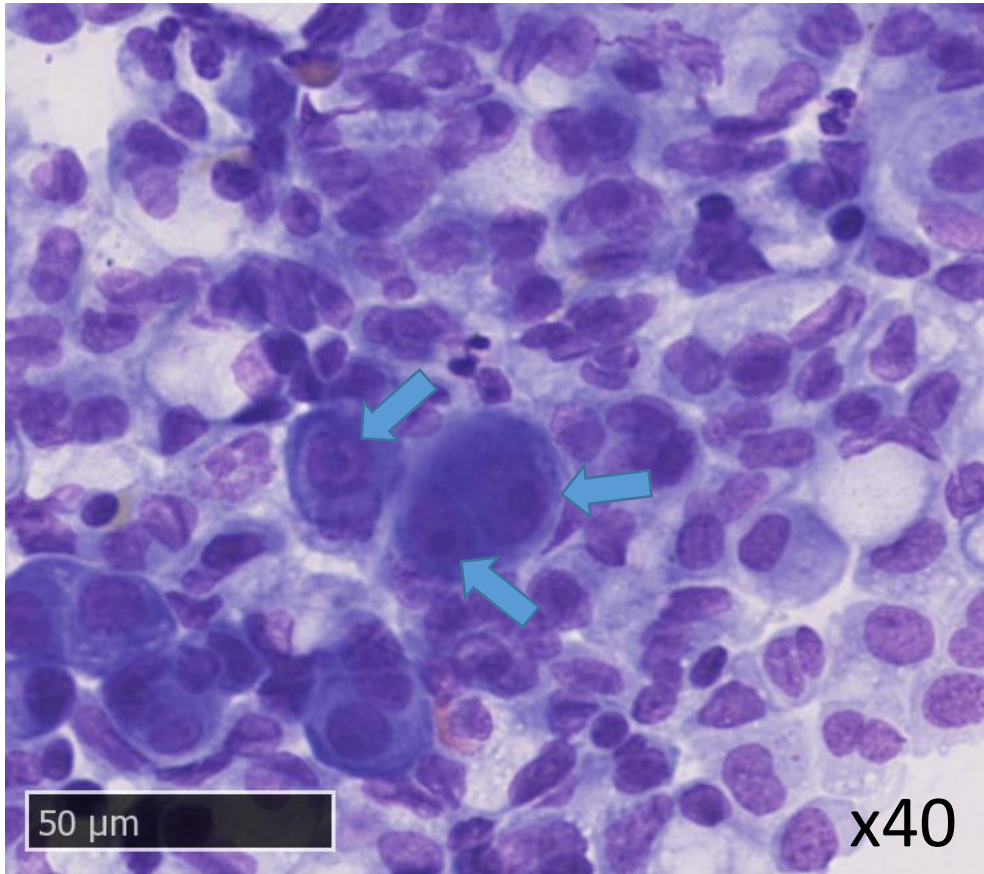
ギムザ染色



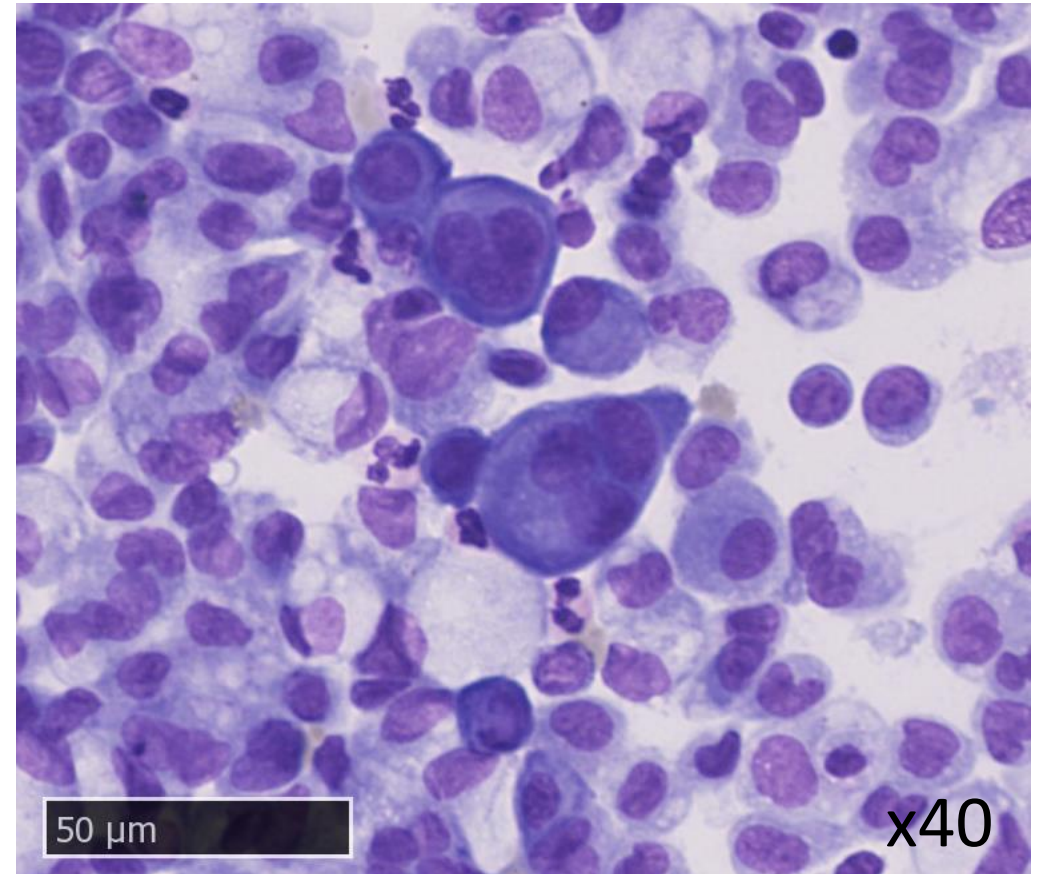
核分裂像



相互封入像



腫大した核小体



Hump様突起

所見まとめ

- 背景：炎症性背景（組織球優位）
- 多数の球状・乳頭状集塊
- 均一感のある多核細胞が多い
- 核は中心性で類円形
- 細胞質辺縁は不明瞭（微絨毛）
- 細胞の大きさがリンパ球の6倍以上
- Hump様突起、相互封入像

選択肢

①反応性中皮細胞

- 平面的集塊での出現
- 単核細胞が多い

②腺癌

- 核は偏在性で核形不整
- 細胞質辺縁は明瞭
- 均一感のない多核細胞
- Hump様突起は少ない

選択肢

③扁平上皮癌

- 角化細胞
- 細胞質辺縁が明瞭
- 細胞質の重厚感
- 渦巻き模様

④肝細胞癌

- 索状配列
- 細胞質内の胆汁色素
- 硝子様小体

選択肢

⑤悪性中皮腫

- 多数の球状・乳頭状集塊
- 多核細胞の増加
- 核は中心性で類円形
- 明瞭な核小体
- 細胞質辺縁の不明瞭さ
- Hump様突起、相互封入像

今回の細胞所見

- 多数の球状・乳頭状集塊
- 均一感のある多核細胞が多い
- 核は中心性で類円形
- 細胞質辺縁は不明瞭（微絨毛）
- 細胞の大きさ（リンパ球の6倍以上）
- Hump様突起、相互封入像
- 炎症性背景（組織球優位）

ご清聴ありがとうございました。